



2020年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月14日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒田 義矢
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 石村 浩 TEL 03 (3593) 1728
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績（2019年9月1日～2020年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	9,418	8.8	923	31.5	1,124	34.6	765	65.6
2019年8月期第3四半期	8,655	—	702	—	835	—	462	—

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 738百万円 (58.7%) 2019年8月期第3四半期 465百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	99.98	—
2019年8月期第3四半期	80.58	—

(注) 1. 当社は、2018年8月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	18,930	6,533	34.4
2019年8月期	16,882	5,856	34.6

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 6,513百万円 2019年8月期 5,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2019年8月期の期初に上記分割が行われたと仮定した場合の2019年8月期の配当金は8円00銭となります。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	7.1	975	28.8	1,200	19.0	775	35.2	101.18

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期初に上記分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期3Q	7,660,000株	2019年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期3Q	319株	2019年8月期	160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期3Q	7,659,727株	2019年8月期3Q	5,740,000株

(注) 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響で、企業業績は悪化し、雇用・所得環境も停滞しております。感染拡大の防止策をとりながら経済活動も段階的に再開しておりますが、第2波に対するリスクも懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界においては、トラックドライバーの高齢化や人手不足は引き続き深刻化しており、2020年5月29日に国土交通省から発表された、「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン紙・パルプ（家庭紙分野）物流編」の主な対応策として「手積み手卸しの解消のため、パレット化の取り組みを実施する」と明示されるなど、パレット輸送や共同配送によるレンタルパレットの需要は引き続き高水準にあります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,418百万円（対前年同四半期比8.8%増加）、営業利益は923百万円（対前年同四半期比31.5%増加）、経常利益は1,124百万円（対前年同四半期比34.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は765百万円（対前年同四半期比65.6%増加）となりました。

なお、当社グループは、業種、規模、地域などが様々に異なる幅広いお客様と取引しており、新型コロナウイルス感染症の当社グループ業績への影響はプラスとマイナスの両面あり、全体で見ると影響は軽微であると認識しております。

また、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しております。各セグメントに係る主な事業内容の変更と主要な関係会社の異動は、概ね次のとおりです。

(物流事業)

コネクティッド事業のIoT事業部のうち、追跡ソリューション等物流事業と親和性の高い事業を物流事業へ移管し、物流IoT事業部としました。この変更に伴い、関係会社のUPR Services Inc.もコネクティッド事業から物流事業へ異動しました。

(コネクティッド事業)

コネクティッド事業のIoT事業部のうち、物流事業と関連性の低い事業をICT事業部とし、主に遠隔監視ソリューションを提供しております。

各セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

(物流事業)

各企業の物流に対する関心は引き続き高く、トラックドライバーの有効求人倍率は依然として高い水準が続いており、更なる効率化・省力化が求められております。新型コロナウイルスの影響でトレットペーパーが店頭で不足したことにより、家庭紙業界のパレット輸送の重要性が改めて認識されるなど、レンタルパレットの需要は引き続き高止まりしております。一方、新商品のサポートジャケットEp+ROBOは、予定していた展示会や体験会が新型コロナウイルスの影響で中止になったため苦戦しておりますが、物流事業全体としての影響は軽微であります。

以上の結果、物流事業では、売上高8,746百万円（対前年同四半期比8.3%増加）、セグメント利益1,741百万円（対前年同四半期比18.4%増加）となりました。

(コネクティッド事業)

遠隔監視ソリューションにおける機器販売が引き続き増加し、カーシェアリングシステムのレンタル及び販売も、概ね顧客の増車計画に沿って順調に推移しました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高671百万円（対前年同四半期比15.2%増加）となりましたが、カーシェアリングシステムの次世代車載器開発費用を計上したことにより、セグメント利益34百万円（対前年同四半期比57.0%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,775百万円となり、前連結会計年度末に比べ510百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が372百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,536百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1,647百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は18,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,047百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は7,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,134百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が3,000百万円増加、買掛金が360百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が1,221百万円減少したことによるものであります。また固定負債は5,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ764百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が849百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,396百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,369百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ677百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の業績予想につきましては、2019年10月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルスによる影響は軽微と認識しておりますが、業績に与える影響の認識を変更した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,023,321	3,395,936
受取手形及び売掛金	1,699,789	1,736,600
電子記録債権	90,583	126,455
商品	174,336	158,606
原材料及び貯蔵品	14,652	27,441
その他	274,218	335,252
貸倒引当金	△12,303	△4,719
流動資産合計	5,264,598	5,775,571
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	8,188,008	9,732,148
その他（純額）	2,289,580	2,392,449
有形固定資産合計	10,477,589	12,124,597
無形固定資産	338,729	352,817
投資その他の資産		
その他	813,879	689,084
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	801,929	677,134
固定資産合計	11,618,248	13,154,550
資産合計	16,882,846	18,930,121

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,989,940	2,350,659
短期借入金	—	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,358,038	1,136,518
未払法人税等	220,020	274,154
賞与引当金	217,440	276,982
役員賞与引当金	—	30,303
その他	415,808	267,024
流動負債合計	5,201,248	7,335,642
固定負債		
長期借入金	5,211,458	4,361,570
役員退職慰労引当金	431,045	478,451
退職給付に係る負債	168,441	204,676
資産除去債務	14,035	14,896
その他	369	1,319
固定負債合計	5,825,350	5,060,914
負債合計	11,026,598	12,396,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	5,324,164	6,028,676
自己株式	△176	△395
株主資本合計	5,811,337	6,515,630
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,682	7,224
為替換算調整勘定	△11,719	△9,237
その他の包括利益累計額合計	24,963	△2,013
非支配株主持分	19,947	19,947
純資産合計	5,856,248	6,533,564
負債純資産合計	16,882,846	18,930,121

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年9月1日 至 2019年5月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年5月31日）
売上高	8,655,951	9,418,339
売上原価	5,507,506	5,959,400
売上総利益	3,148,444	3,458,939
販売費及び一般管理費	2,446,292	2,535,407
営業利益	702,151	923,531
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,598	2,076
受取補償金	138,714	183,142
その他	27,685	49,298
営業外収益合計	167,998	234,516
営業外費用		
支払利息	24,698	25,237
為替差損	6,448	7,134
その他	3,151	991
営業外費用合計	34,298	33,363
経常利益	835,851	1,124,685
特別利益		
固定資産売却益	333	2,691
投資有価証券売却益	—	66,724
特別利益合計	333	69,416
特別損失		
固定資産除却損	3,533	104
減損損失	70,330	—
その他	7,941	—
特別損失合計	81,804	104
税金等調整前四半期純利益	754,380	1,193,997
法人税、住民税及び事業税	264,246	426,870
法人税等調整額	27,608	1,336
法人税等合計	291,855	428,206
四半期純利益	462,525	765,790
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	462,525	765,790

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	462,525	765,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,419	△29,458
為替換算調整勘定	635	2,481
その他の包括利益合計	3,055	△26,976
四半期包括利益	465,580	738,813
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	465,580	738,813
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年9月1日 至 2019年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,072,818	583,132	8,655,951	—	8,655,951
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	8,072,818	583,132	8,655,951	—	8,655,951
セグメント利益	1,470,982	79,181	1,550,163	△714,311	835,851

(注) 1. セグメント利益の調整額△714,311千円には、セグメント間取引消去6千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△714,318千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「物流事業」セグメントにおいて56,787千円、「コネクティッド事業」セグメントにおいて13,542千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年9月1日 至 2020年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,746,376	671,963	9,418,339	—	9,418,339
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	8,746,376	671,963	9,418,339	—	9,418,339
セグメント利益	1,741,665	34,080	1,775,745	△651,060	1,124,685

(注) 1. セグメント利益の調整額△651,060千円には、セグメント間取引消去△125千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△650,935千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴いセグメント区分の見直しを行っております。従来「コネクティッド事業」セグメントに含めていたIoT事業部の取扱い商材の一部及び子会社のUPR Services Inc.を物流事業へ移管し、「物流事業」セグメントに含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分で記載してまいります。